

---

サイオス コンシエルジュ

# 導入時マニュアル管理者編

2010/11/02 版

---

サイオステクノロジー株式会社

## 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1. 本マニュアルの対象読者 .....	1
1.2. 本マニュアルの解説範囲と流れ .....	1
<b>2. ドメインの取得</b> .....	<b>3</b>
2.1. 新規ドメインで Google Apps Premier Edition を導入 .....	3
2.2. 既存ドメインで Google Apps Premier Edition を導入 .....	3
<b>3. DNS サーバーの設定の手配</b> .....	<b>4</b>
<b>4. コントロールパネルへのアクセス</b> .....	<b>5</b>
<b>5. ドメイン所有権の確認</b> .....	<b>7</b>
5.1. DNS の CNAME レコードを追加して確認する方法 .....	7
5.2. HTML ファイルをアップロードして確認する方法 .....	9
<b>6. 利用開始の準備</b> .....	<b>11</b>
6.1. ロゴのアップロード .....	11
6.2. ユーザーアカウントの作成.....	12
6.3. メールの有効化 .....	13
6.3.1. 概要 .....	13
6.3.2. MX レコードの設定.....	13
6.3.3. データの移行.....	14
6.4. サブドメインでアクセスする .....	15
6.5. 各サービスの開始.....	16
6.6. アクセス制限について.....	17
6.6.1. Gmail .....	17
6.6.2. Chat .....	18
6.6.3. Calendar .....	19
6.6.4. Docs.....	19
6.6.5. その他のアプリケーションのドメイン制限について.....	20

## 1. はじめに

この度は、Google Apps Premier Edition (以下、Google Apps)を導入いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルは、導入いただいたお客さまが、お客さま自身で Google Apps の利用を開始するために必要な情報、手順を紹介、解説します。

なお、本マニュアルではサイオステクノロジー株式会社をサイオスと略します。

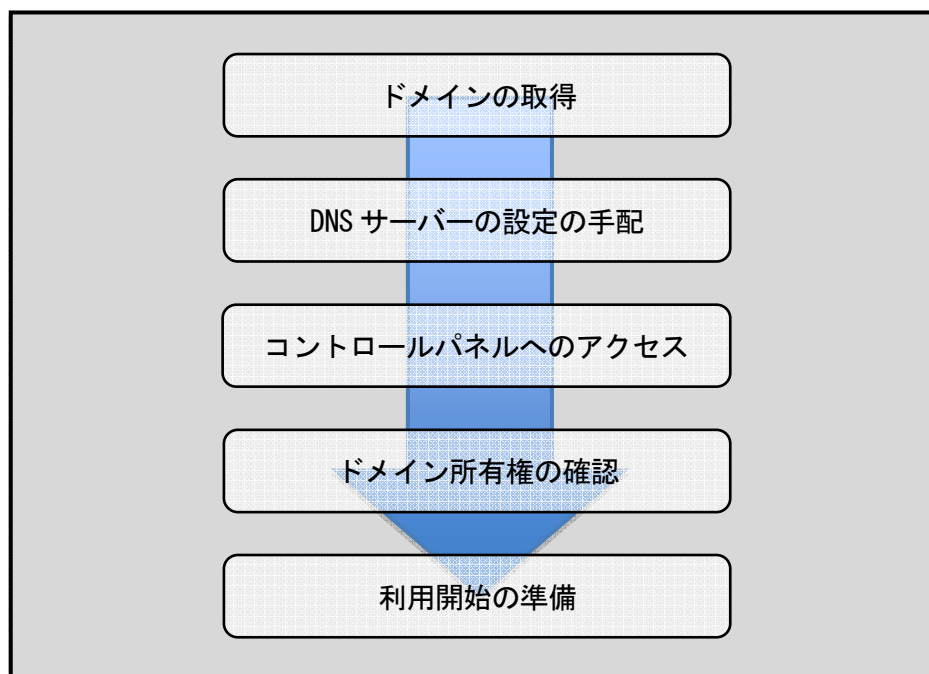
### 1.1. 本マニュアルの対象読者

本マニュアルは、Google Apps の導入作業を実際に行う方を対象としています。たとえば、導入企業の情報システム部門の担当者等で、IT システムやインターネットネットワークについての知識を持っている方が対象となります。

また、設定手順の中に、DNS サーバーの設定がありますので、インターネットでの DNS の役割、仕組みを理解されていることが望ましいです。

### 1.2. 本マニュアルの解説範囲と流れ

本マニュアルの解説範囲と流れは以下のようになります。本マニュアルでは、この流れで設定手順を解説していきます。



各手順の概要は以下の通りです。

- ・ **ドメインの取得**

Google Apps に必要となる独自のドメインの取得方法について解説します。

- **DNS サーバー<sup>1</sup>設定の手配**

Google Apps の利用には DNS サーバーの設定が不可欠です。ここでは DNS サーバーに関する情報を解説します。

- **コントロールパネルへのアクセス**

Google Apps の各種設定を行う Web ページを管理者コントロールパネルと言います。ここではそのコントロールパネルの紹介をします。

- **ドメイン所有権の確認**

Google Apps の利用を開始するには、登録したドメイン名が登録者の管理下のものであるかを Google に確認してもらう必要があります。(ドメイン所有権の確認。これをアクティベーションとも言います。)

ここではドメイン所有権の確認についての手順を解説します。

- **利用開始の準備**

ドメイン所有権の確認が完了すると、Google Apps の各アプリケーション (Gmail やカレンダーなど) の利用が出来るようになります。

ここでは Google Apps の利用を始める際に必要な設定手順について解説します。

---

<sup>1</sup> DNS は、Domain Name System (ドメインネームシステム) の略で、DNS サーバーとはインターネット上のホスト名や電子メールに使われる名前 (これをドメイン名と言います) と実際にインターネット上につながっている機械に割り当てられている固有の数値 (これを IP アドレスと言います) との対応付けを管理するサーバーのことを言います。

## 2. ドメインの取得

### 2.1. 新規ドメインで Google Apps Premier Edition を導入

新規ドメインで Google Apps を購入する際は、登録対象となる「ドメイン」を取得していただく必要があります。

サイオスから Google Apps の新規購入と同時にドメインを取得することも出来ます。このときは導入時サポートとして、ドメインの設定等はサイオス側で実施いたします。

お客さまがご自身で別途ドメインを取得する際は、導入時のドメイン設定については原則お客さま自身で行っていただく形となります。

### 2.2. 既存ドメインで Google Apps Premier Edition を導入

既存ドメインで Google Apps を導入する場合、ドメインの切替設定等の作業は、お客さま自身で行っていただく形となります。

### 3. DNS サーバーの設定の手配

Google Apps 導入において、運用するドメイン名が管理されている DNS サーバーへの設定が必須となります。具体的には、この後解説するドメイン所有権の確認 (CNAME レコードを追加する場合)、および Google Apps の Gmail を利用するためのメールサーバーの設定 (MX レコードの設定) です。

以下に、お客さま (Google Apps 担当者) の想定されるケースを挙げています。お客さまの状況を鑑みて、確実に DNS サーバーの設定が行える準備をしておいてください。

- **お客さま自身で DNS サーバーを管理している場合**  
以降に説明する内容に従い、DNS サーバーの設定が必要なタイミングで DNS の設定を行ってください。
- **お客さまの所属する会社内で DNS サーバーを管理している場合**  
会社内の DNS サーバーを管理している部門、人物に連絡をして、Google Apps の利用開始には DNS サーバーの設定変更が必要なことを伝えてください。また、手順については本マニュアルを提出しておくとい良いでしょう。
- **お客さまの所属する会社ではなく親会社が DNS サーバーを管理している場合**  
親会社の DNS サーバーを直接管理している部門、人物にお願いする形となります。導入前に連絡をつけておきましょう。
- **お客さまの所属する会社ではなく、第 3 者のドメイン管理会社に委託している場合**  
まずは社内に担当者がいると思いますので、そちらの部門、人物と連絡を取ってください。その後、Google Apps 利用開始には本マニュアルに沿った手順が必要なことを説明してください。

なお、Google 社から、一般的なドメイン管理会社の設定手順を説明しているヘルプページが提供されています。以下の URL の「一般的なドメイン ホストの設定手順」をご確認ください。

<http://www.google.com/support/a/bin/answer.py?answer=47283>

DNS サーバーの設定を行うための準備が出来たら、次項に進んでください。

## 4. コントロールパネルへのアクセス

以降の導入時作業は基本的に、Google Apps の各種設定を行うシステム管理者向けの「コントロールパネル」にログインして操作を行います。

コントロールパネルは、「[https://www.google.com/a/your\\_domain.com/](https://www.google.com/a/your_domain.com/)」からアクセス可能です。「your\_domain.com」はお客さまのドメイン名に置き換えてください。

下の画面はコントロールパネルログイン直後のダッシュボード画面の表示例です。

Google Apps for **siostechnology.net** - Premier Edition

アカウントを検索 ヘルプセンターを検索

ダッシュボード ユーザーとグループ ドメインの設定 高度なツール サポート サービスの設定

⚠️ API アクセスが有効になっています。このコントロールパネルから行った更新は、ユーザー管理システムには転送されません。ヘルプ

**SIOS Technology, Inc.**  
 siostechnology.net, siostechnology.nettest-google-a.com  
[アカウント情報を管理](#) [ドメイン名](#)  
 37人のユーザー [ユーザーを追加](#)  
 このドメインでは、最大 50 個のユーザー アカウントを作成できます。

すべてのサービスが正常に機能しています  
 過去 90 日間のアクティブユーザー数  
 現在: 15 最小: 0 最大: 34  
 2009年11月23日 現在 [ヘルプ](#)

**サービスの設定** [サービスを追加](#)

- メール** - 未使用  
25 GB の保存容量と検索機能に優れたウェブメールです。  
[メールを有効にする](#)
- ドキュメント** - アクティブ  
<http://docs.google.com/a/siostechnology.net>
- カレンダー** - アクティブ  
<http://www.google.com/calendar/hosted/siostechnology.net>
- サイト** - アクティブ  
<http://sites.google.com/a/siostechnology.net>
- チャット** - アクティブ  
ユーザーは [Google トークをダウンロード](#) するとログインできるようになります
- Postini サービス** - アクティブ  
Postini サービスでは、メールのポリシーやフィルタを設定できます。
- モバイル**  
Google Apps を携帯端末にインストール
- スタートページ** - アクティブ  
<http://partnerpage.google.com/siostechnology.net>
- 連絡先 ベータ** - アクティブ  
<http://www.google.com/contacts/a/siostechnology.net>
- ウェブページ** - アクティブ  
<http://www.siostechnology.net-a.googlepages.com>

ヒント: Google Apps 管理者コミュニティに参加して他の Google Apps 管理者と意見を交換することができます。 [ヘルプ](#)

[利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#) - [機能の提案](#) - [Google ホーム](#)  
 ©2009 Google Inc.

コントロールパネルには下記のブラウザを使用してログインできます。

- Internet Explorer 6.0 以降 (Windows)
- Netscape 7.1 以降 (Windows,Mac,Linux)
- Firefox 1.0 以降 (Windows,Mac,Linux)
- Safari 1.3 以降 (Mac)
- Google Chrome (Windows)

また、Google Apps を利用するには、いずれのブラウザでも Cookie と JavaScript を有効にする必要があります。

## 5. ドメイン所有権の確認

Google Apps Premier Edition を導入する際、指定したドメインの所有権を Google 側に確認してもらう必要があります。これをドメイン所有権の確認、もしくはアクティベーションと呼びます。これを行わないと各サービスを利用することが出来ません。

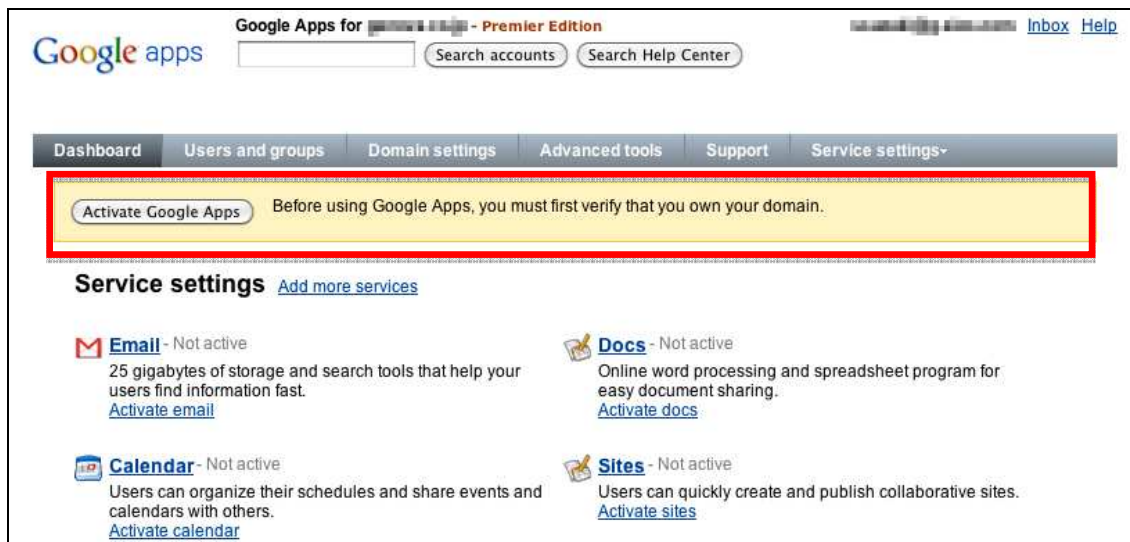
Google による確認方法としては、次の2通りあります。一つは、お客さまのドメイン名が管理されている DNS サーバーに Google 側が指定する CNAME レコードを追加して確認する方法です。もう一つは、HTML ファイルを作成し、お客さまのドメイン配下の Web サーバーにアップロードして確認する方法があります。HTML ファイルの方法は、お客さまのドメイン名で Web サイトを公開している必要があります。また、公開している Web サーバーへの管理権限が必要です。

なお、Premier Edition の場合、申し込み後、21 日以内にドメイン所有権を確認する必要があります。(14 日以内に通告メールが送付されます)

### 5.1. DNS の CNAME レコードを追加して確認する方法<sup>2</sup>

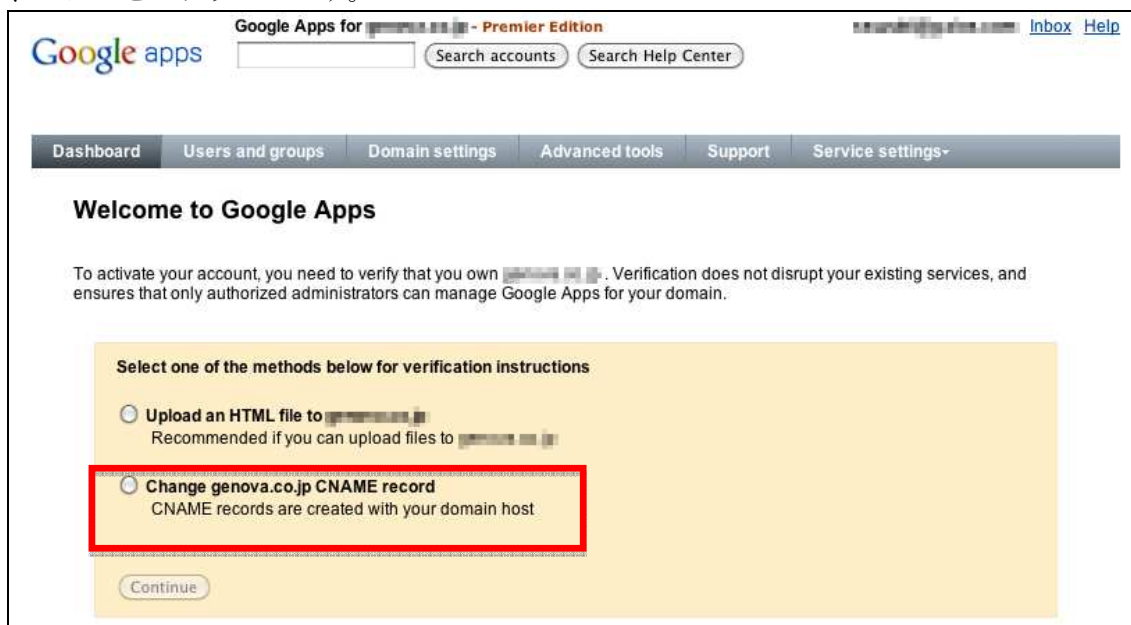
まず、コントロールパネルにアクセスします。

コントロールパネルに入ると、トップ画面（ダッシュボード画面）に、アクティベーションを促すメッセージとボタンが表示されているので、そのボタンをクリックします。



<sup>2</sup> 詳細は <http://www.google.com/support/a/bin/answer.py?answer=47283&hl=ja>

次に、ドメイン所有権の確認の方法を問われるので、CNAME レコード追加の方を選択し、ボタンをクリックします。



ボタンをクリックすると、確認用のホスト名 (googlefffggghh12345 (固有の文字列となります)) が表示されますので、その内容を控えておきます。



お客様の DNS サーバーを設定して、控えたホスト名を CNAME レコードとして追加します。このとき、参照先は「google.com」とします。

以上の設定を行い、DNS設定の変更がインターネット上に反映されるのを待ちます。(48時間程度かかることがあります)

その後、コントロールパネルから再び確認用のホスト名を確認できる画面（上記画面）にアクセスして、確認ボタンをクリックします。

設定した CNAME 情報が Google 側に認識されると、ドメイン所有権の確認が行われ(アクティベーションされて)、Google Apps の各サービスが利用可能になります。

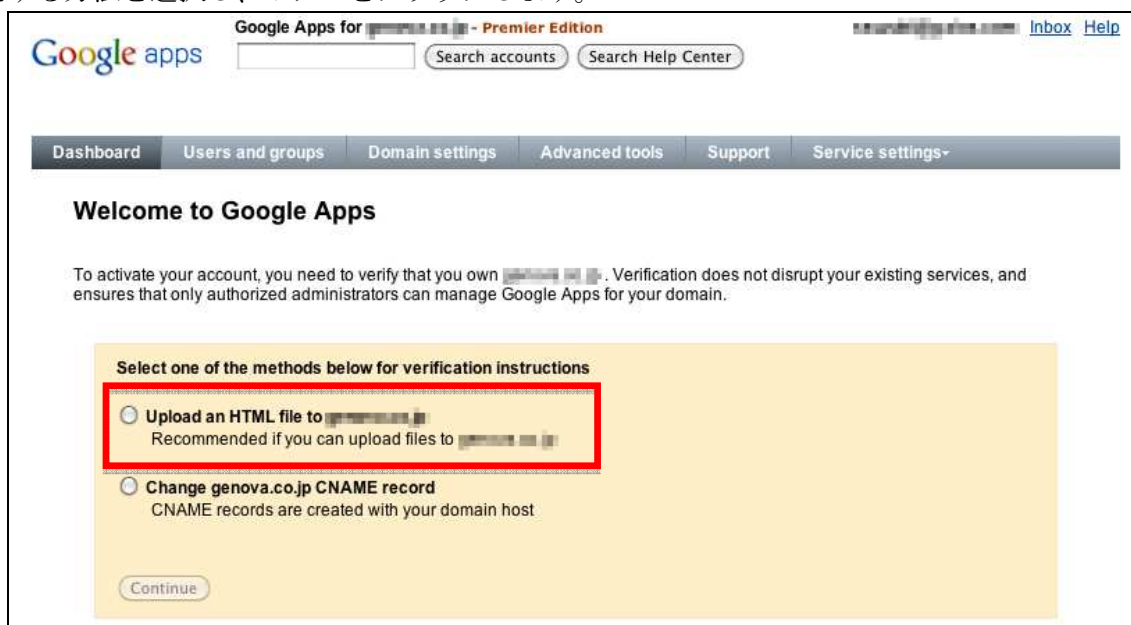
なお、ドメイン所有権の確認後は、確認用の CNAME レコードは削除できますが、カスタム URL の CNAME レコードは残しておく必要があります。

この方法についてのより詳しい解説は、脚注にある URL からご確認ください。

## 5.2. HTML ファイルをアップロードして確認する方法<sup>3</sup>

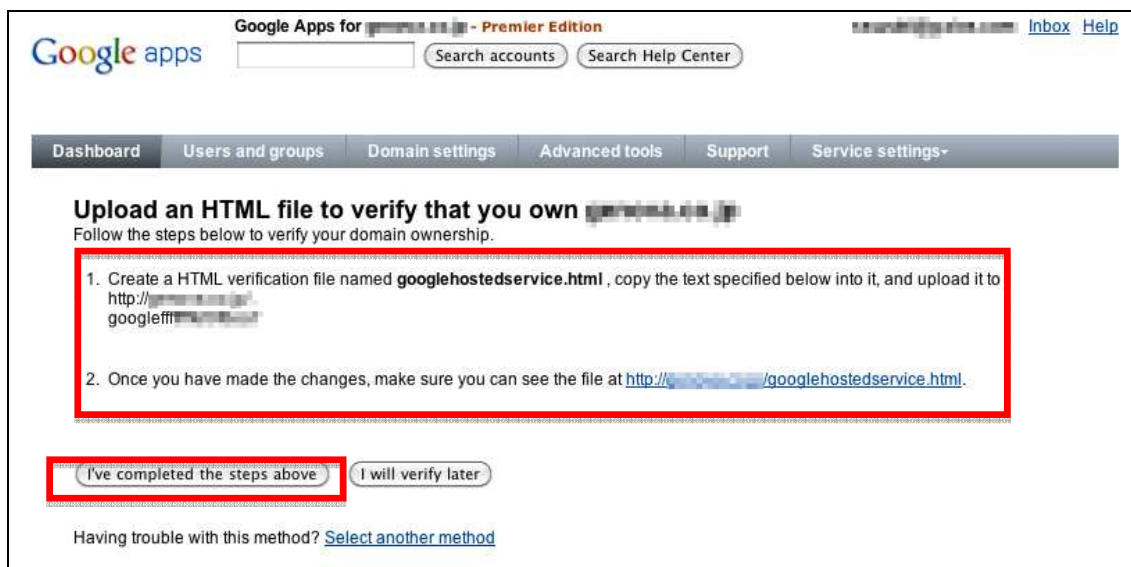
コントロールパネルに入り、トップ画面のアクティベーションを促すボタンをクリックするところまでは、CNAME レコードによる確認方法と同じです。

ドメイン所有権の確認の方法を問われる画面で、HTML ファイルをアップロードして確認する方法を選択し、ボタンをクリックします。



<sup>3</sup> 詳細は <http://www.google.com/support/a/bin/answer.py?hl=jp&answer=63026>

ボタンをクリックすると、確認用の HTML ファイルのファイル名 (googlehostedservice.html) と、その中に記載する文字列 (googlefffggghhh12345 (固有の文字列となります)) が表示されますので、指定されたファイル名、内容を持った HTML ファイルをテキストエディタ等で作成します。



作成した HTML ファイルを、お客様の Web サーバーにアップロードします。このとき、HTML ファイルはドメイン直下 (http://your\_domain/googlehostedservice.html) に置く必要があります。

ファイルをアップロードしたら、上記の URL でファイルがブラウザでアクセス可能となっていることを確認してください。

確認後、コントロールパネルから再び確認用の HTML ファイル名等を確認できる画面 (上記画面) にアクセスして、確認ボタンをクリックします。

情報が Google 側に認識されると、ドメイン所有権の確認が行われ (アクティベーションされて)、Google Apps の各サービスが利用可能になります。

なお、ドメイン所有権の確認後は確認用の HTML ファイルは削除して問題ありません。

## 6. 利用開始の準備

前段の「ドメイン所有権の確認」が完了すると、Google Apps の各アプリケーションの利用を始められます。ここでは、利用開始時に行う設定手順を解説します。

### 6.1. ロゴのアップロード

コントロールパネルの、「ドメインの設定」→「デザイン」から、Google Apps の各アプリケーションの画面左上に表示される、ロゴイメージをカスタマイズできます。

お客様のコーポレートロゴマーク等を指定することで、標準の Gmail 等との区別がつくように出来ます。



## 6.2. ユーザーアカウントの作成

次に、Google Apps 利用ユーザーのアカウントを作成します。

コントロールパネルの「ユーザーとグループ」→「ユーザー」を選択します。

Google Apps for siostechnology.net - Premier Edition

ダッシュボード ユーザーとグループ ドメインの設定 高度なツール サポート サービスの設定

ユーザーとグループ

ユーザー グループ 設定

⚠ API アクセスが有効になっています。このコントロールパネルから行った更新は、ユーザー管理システムには転送されません。ヘルプ

新しいユーザーを作成 複数アカウントの一括アップロード - メールアドレス一覧  
このドメインでは、最大 50 個のユーザー アカウントを作成できます。

名前	ユーザー名	ステータス	メールの容量	最終ログイン
管理者		管理者	25 GB 中 0% 使用	17:58
清水 裕太	z101		25 GB 中 0% 使用	ログインなし
山下 愛	z111		25 GB 中 0% 使用	ログインなし
岡田 優	z112		25 GB 中 0% 使用	ログインなし
渡辺 翔太	z113		25 GB 中 0% 使用	ログインなし
福島 あゆみ	z114		25 GB 中 0% 使用	ログインなし
荒井 麻送	z115		25 GB 中 0% 使用	ログインなし

CSV 形式でユーザー リストをダウンロード

利用規約 プライバシーポリシー 機密の提案 Google ホーム  
©2009 Google Inc.

新しいユーザーを作成  
複数のユーザーを作成

\* 必須項目

姓\* 名\*

ユーザー名\* @siostechnology.net

仮のパスワード: Q75859 [パスワードの設定](#)

新しいユーザーを作成 キャンセル

「新しいユーザーを作成」リンクから、ユーザーを一人ずつ個別に追加することが出来ます。ユーザーの「姓」、「名」、「ユーザー名」（メールアドレス）を指定します。パスワードは仮のパスワードが自動生成されます。これを作成したユーザーに伝えて、初回ログインをしてもらいます。

また、あらかじめパスワードを設定しておくことも可能です。

複数のアカウントをまとめて作成、更新することも可能です。「複数アカウントの一括アップロード」のリンクをクリックすると、アップロードのための方法を説明した画面に遷移します。<sup>4</sup>

<sup>4</sup> 当マニュアルでは詳しい方法は割愛します。

参考： <http://www.google.com/support/a/bin/answer.py?answer=40057&hl=ja>

## 6.3. メールの有効化

### 6.3.1.概要

ドメインのメールサービスとして Google Apps の Gmail を使用するには、DNS サーバーの MX レコード<sup>5</sup>の設定を Google のメールサーバーを指定するように変更する必要があります。

ドメイン所有権の確認の CNAME レコードを利用した確認方法の時と同じく、お客さまのドメイン名が管理されている DNS サーバーへの変更作業が必要です。

また、既存のメールサーバーから切り替える場合、MX レコードを変更する前に既存のメールサーバーに登録されているユーザーアカウントを Google Apps 側に作成しておく必要があります。ユーザーアカウントを作成しないと、そのユーザー宛に送信されたメールはすべて返送されてしまいます。

### 6.3.2.MX レコードの設定

お客さまの DNS サーバーに以下の設定を行います。

Priority(優先値)	Mail Server(メールサーバー)
1	aspmx.l.google.com.
5	alt1.aspmx.l.google.com.
5	alt2.aspmx.l.google.com.
10	aspmx2.googlemail.com.
10	aspmx3.googlemail.com.

TTL 値には 1 時間(値は 3600)を設定します。

優先値が設定できない場合は、「aspmx.l.google.com.」のみを入力します。

「aspmx.l.google.com.」が最優先のメールサーバーとなるように設定します。

以上の設定を行い、DNS 設定の変更がインターネット上に反映されるのを待ちます。(48 時間程度かかることがあります)

MX レコードのステータスの確認は、下記の URL (Google Apps ヘルプ) の DNSstuff.com の MX レコードルックアップのフォームから確認できます。

<http://www.google.com/support/a/bin/answer.py?hl=jp&answer=33352>

<sup>5</sup> MX(Mail Exchange)レコード：メールをドメインに配信するための DNS 設定。

### 6.3.3. データの移行

既存のメールサーバーから切り替えた場合等、メールデータの移行を行いたい場合があります。

ここでは、Google が提供している各種移行ツールの紹介をしておきます。詳細な利用方法は、各ツールの説明に記載された URL の情報を確認ください。

#### (1) 個別のメールアカウントのメールを移行する場合

##### • Gmail の Mail Fetcher

各ユーザーの Gmail の設定パネルで利用可能で、ユーザーは Gmail と Gmail 以外のアカウントの両方でメールを取得できます。取得したメールは、ユーザーの Google Apps メールアカウントに追加されます。

既存データの移行は必要ないが、各ユーザーがメールを移行できる場合、この方法が利用できます。

参考 URL: <https://mail.google.com/support/bin/answer.py?answer=21288>

##### • Google のメールアップローダー

Windows 上で実行可能なアップロードツールで、Microsoft Outlook など他のメールプログラムから、Google Apps のアカウントにメールと連絡先をアップロードできます。送信日時や差出人、宛先などの情報の他、メールプログラムで使用しているフォルダ構造も保持されます。

参考 URL: [http://mail.google.com/mail/help/email\\_uploader.html](http://mail.google.com/mail/help/email_uploader.html)

#### (2) ドメイン全体のメールを移行する場合

##### • IMAP のメール移行

Google Apps ドメイン管理者はユーザーの受信ボックスにある既存のメールを IMAP サーバーから Google Apps に転送することができます。

管理者が多数の受信ボックスを一度に移行するときに利用します。この移行方法を使用すると、管理者はユーザーが Google Apps のメールに移行する前後や移行中でもメールを移行できます。

参考 URL: <http://www.google.com/support/a/bin/answer.py?hl=jp&answer=61369>

##### • Email Migration API

コントロールパネルの「高度なツール」セクションでドメインの Email Migration API を有効にすることで利用できます。

この API を介して、独自のメール移行アプリケーションを開発することでメールの移行を実施します。

参考 URL: [http://code.google.com/apis/apps/email\\_migration/developers\\_guide\\_protocol.html](http://code.google.com/apis/apps/email_migration/developers_guide_protocol.html)

## 6.4. サブドメインでアクセスする

Google Apps の各アプリケーションに、独自ドメインのサブドメインでアクセスできるようにする方法として、カスタム URL の設定というものがあります。

以下、Gmail を例として説明します。

通常、Gmail へアクセスする URL は「<http://mail.google.com/a/yourdomain>」となりますが、カスタム URL を設定すると、「<http://mail.yourdomain>」とすることが出来ます。

なお、この作業には、DNS サーバーの設定変更が必要です。

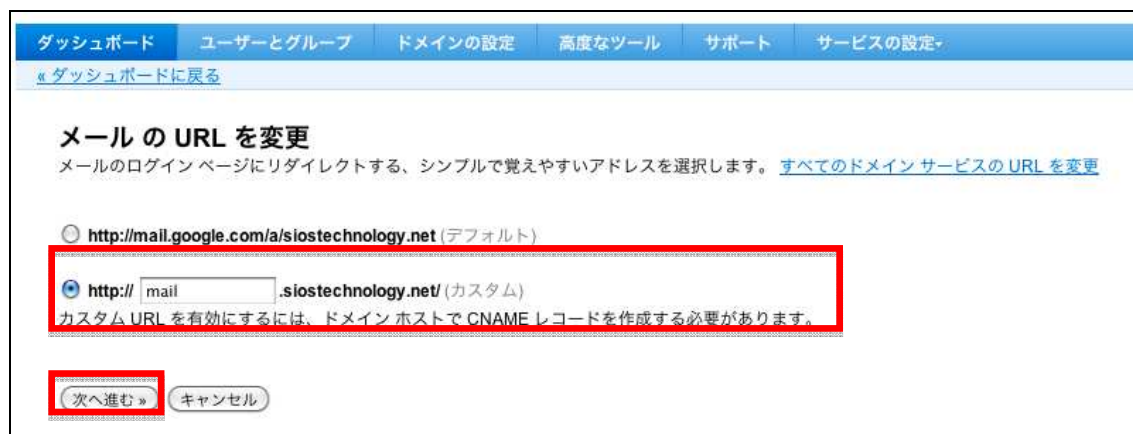
### ・カスタム URL の設定手順

まず、管理者コントロールパネルにアクセスし、「サービスの設定」→「メール」を選択し、メール設定、全般タブ画面を表示します。

「ウェブアドレス」の箇所に現在の URL 「<http://mail.google.com/a/yourdomain>」が表示されているので、その下の「URL を変更」リンクをクリックします。



「メールの URL を変更」という画面に移動し、カスタム URL を設定することが出来ます。ここで (カスタム) の方を選択し、カスタム URL をテキストフィールドに入力して、「次へ進む」ボタンをクリックします。



次に進むと「CNAME レコードの変更中」という画面に移動します。

ここでは、前の画面で設定したカスタム URL の CNAME レコードを、DNS サーバーに登録する方法が説明されています。

ダッシュボード ユーザーとグループ ドメインの設定 高度なツール サポート サービスの設定

ダッシュボードに戻る

### CNAME レコードの変更中

カスタム URL `mail.siostechnology.net` を使用するには、ドメイン ホストで CNAME レコードを変更する必要があります。

- ご利用のドメイン ホスティング プロバイダの管理画面にログインします。
- DNS の管理ページにアクセスします。このページの場所と名前はホスティングサービスによって異なりますが、一般的に [ドメイン管理] や [詳細設定] からアクセスできます。
- CNAME 設定を見つけて、CNAME の値または別名として次を入力します。  
`mail`
- CNAME のサーバー アドレス:  
`ghs.google.com`
- ドメイン ホストでの変更を保存し、下の [指定された手順を完了しました] をクリックします。

終了時に [指定された手順を完了しました] をクリックすると、Google で CNAME レコードの確認が行われます。

画面の説明に従って、DNS サーバーに CNAME レコードを追加します。このとき、カスタム URL の参照先は「`ghd.google.com`」とします。なお、DNS サーバー設定前に当該画面を閉じるときは「後で実行する」ボタンをクリックします。

以上の設定を行い、DNS 設定の変更がインターネット上に反映されるのを待ちます。(48 時間程度かかることがあります)

その後、上記画面に再びアクセスして「指定された手順を完了しました」をクリックします。

DNS サーバーの設定内容がインターネット上に反映されていれば、設定が完了し、サブドメインによるアクセスが可能になります。

## 6.5. 各サービスの開始

ユーザーアカウントの作成、MX レコードの切替が完了したら、Gmail をはじめとした各種 Google Apps のサービスを利用開始することが可能になります。

引き続き次項では、各サービスに対するアクセス制限について解説します。

## 6.6. アクセス制限について

ネットワーク外部からのアクセス制限に関しては、Google Apps 製品の各アプリケーションでドメイン制限が出来ます。

### 6.6.1. Gmail


コントロールパネルの「メール設定」→「全般」タブより、受信ゲートウェイを設定することで、メールの配信元を制限することが出来ます。

また、ユーザーに POP/IMAP の利用を許可するか（メールをダウンロード、同期できるか）の設定が出来ます。

**受信ゲートウェイ** メールゲートウェイを使用して受信メールを転送する場合は、迷惑メールの処理精度向上のため、ここにメールゲートウェイを入力してください。Postini サービスを使用するドメインについては、ここに「64.18.0.0/20,207.126.144.0/20,74.125.148.0/22」と入力してください。 [ヘルプ](#)

複数のエントリーを指定する場合は、カンマで区切ります

上記のメールゲートウェイからのみユーザーがメールの受信をできるようにします。 **その他すべてのメールは拒否されます。**

 受信ゲートウェイからのみメールを受信するには、ゲートウェイ IP アドレスで MX レコードを指定する必要があります。 [ヘルプ](#)

**POP と IMAP アクセス**  ドメインのすべてのユーザーの POP と IMAP アクセスを無効にします。 [ヘルプ](#)

## 6.6.2.Chat

Google Chat は下記の手順によりドメイン内での制限を設定することが可能です。  
コントロールパネル → サービスの設定 → チャット → チャットの設定 →  
共有オプションの「ユーザーは ~ 外のほかのユーザーとチャットできます」のチェックを外します。

ダッシュボード	組織とユーザー	グループ	ドメインの設定	高度なツール	サポート	サービスの設定
---------	---------	------	---------	--------	------	---------

### チャット設定

**ダウンロード** ユーザーがチャットを利用するには、[Googleトークをダウンロード](#)する必要があります (Windows のみ)。

**共有オプション** **SIOS Technology, Inc. 外のユーザーとチャット** (Google ネットワーク内)  
ユーザーは他の Google Apps や Gmail ユーザー (Google ネットワーク) と自動的にチャットできるようになります。

- ユーザーのチャットのステータスを SIOS Technology, Inc. 外に表示します
- SIOS Technology, Inc. 外のユーザーとチャットする際に警告を表示する
- ユーザーは SIOS Technology, Inc. 外の他のユーザーとチャットできます

**Google ネットワーク外**  
連携ネットワーク内のサービスであれば、他社の IM サービスのユーザーともチャットできます。  
Google ネットワーク外のユーザーとチャットできるようにするには、ドメイン設定のサービス (SRV) レコードを変更する必要があります。[詳細](#)

### 6.6.3.Calendar

カレンダーのスケジュール情報をドメイン外部と共有可能とするか設定可能です。デフォルトでは「空き時間情報のみ（予定の詳細を非表示）」外部から参照可能で、情報は共有されるが編集不可、共有も編集も可能、と設定変更が出来ます。

ドメイン内部においても、共有しない、空き時間情報のみ、すべての情報を共有、と設定可能です。ただし、内部設定は各ユーザーが個別に変更可能です。

#### カレンダー設定

全般
リソース

**ウェブアドレス** ユーザー用のカレンダー URL:  
<http://www.google.com/calendar/hosted/siostechnology.net>  
[URL を変更](#)

**共有オプション** **ドメイン外部 - ユーザー権限の設定**  
 デフォルトでは、このドメイン外のユーザーとカレンダーを共有することはできません。ユーザーに許可する最大の共有レベルを選択してください。

- 空き時間情報のみ (予定の詳細を非表示)
- 情報はすべて共有されますが、外部のユーザーはカレンダーを変更できません
- 情報はすべて共有され、外部のユーザーがカレンダーを変更できます

---

**ドメイン内 - デフォルトの設定**  
 このデフォルトの設定はユーザーが変更できます。

- 共有しない
- 空き時間情報のみ (詳細を非表示)
- すべての情報を共有

**空き時間情報サービス** [空き時間情報サービスを使用するようカレンダーを設定します](#)  
 企業で空き時間情報ウェブサービス (Google Calendar Connectors for Microsoft Exchange™ で提供されているサービスなど) を実行している場合は、そのサービスに接続してカレンダーの空き時間情報を取得するように Google Apps を設定できます。  
[ヘルプ](#)

### 6.6.4.Docs

ドキュメントは、ドメイン外に対する共有レベルを設定できます。デフォルトはドメイン外のユーザーとはドキュメントを共有できない設定です。

#### ドキュメントの設定

全般
テンプレート

**ウェブアドレス** ユーザーは次の URL からドキュメント サービスにアクセスできます:  
<http://docs.google.com/a/siostechnology.net>  
[URL を変更](#)

**共有オプション** **このドメイン外**  
 ユーザーに許可する最大の共有レベルを選択してください:

- このドメインの外のユーザーとはドキュメントを共有できない
  - 外部ドメインからドキュメントを受けとることを許可する
- このドメインの外のユーザーともドキュメントを共有できるが、毎回警告メッセージを表示する
- このドメイン外でもユーザーはドキュメントを共有できる (警告は表示しない)

[サービスの使用を停止する](#) [ドキュメントの使用を停止する](#)

### 6.6.5. その他のアプリケーションのドメイン制限について

上記に述べた以外に、Sites(サイト) (下図) と Groups (user-managed) settings (拡張版のみ) に関しても、ドメイン制限の設定があります。



**サイト設定**

全般 [ウェブアドレスのマッピング](#)

**ウェブアドレス** ユーザーは次の URL からサイトにアクセスできます:  
<http://sites.google.com/a/siostechnology.net> - [URL を変更](#)

**共有オプション** このドメイン外  
ユーザーに許可する最大の共有レベルを選択してください:

- ユーザーは、このドメイン外のユーザーとサイトを共有できません
- ドメイン外のユーザーとの共有は可能ですが、毎回警告メッセージが表示されます
- このドメイン外のユーザーとのサイトを共有できます (警告メッセージは表示されません)
- ユーザーはサイトを公開できます

サービスの使用を停止する [サイトの使用を停止する](#)